

第4章 胃内容調査

4.1 はじめに

クジャクは雑食性であり、穀物等の植物質のものから小型の爬虫類や哺乳類までも捕食することが報告されており (Baker, 1930; Ali and Ripley, 1978; Johnsgard, 1999)、沖縄県内の在来種を捕食している可能性がある。八重山地域の新城島および石垣島に生息するクジャクについても、これまでもおもに植物質を採食し、そのほかに昆虫類、クモ類、貝類を捕食していることが報告されている (環境省那覇自然環境事務所, 2005, 2008)、黒島においては、昨年度事業でおもに冬季捕獲個体について胃内容調査を行い、他の島嶼と同様に植物質を中心に捕食していたが (沖縄県, 2017)、今年度は夏季・秋季の捕獲個体についても継続して胃内容調査を実施した。

4.2 方法

(1) 使用個体および器官

胃内容調査には、今年度本事業で実施したワイヤーおよび空気銃により捕獲した個体のうち、オス 16 個体・メス 14 個体の合計 30 個体を使用した。分析に使用した器官はそ嚢および筋胃とした。なお、小腸および大腸については内容物の判別が困難であることから分析から除外した。

(2) 分析手順

そ嚢および筋胃は捕獲後すぐに摘出し、冷凍保存後、株式会社南西環境研究所に移送した。各試料を解凍後、器官を切開し、胃石を取り除いた後の試料をエチルアルコールで保存処理したのち、植物質および動物質に区分し重量を計測した。

4.3 分析結果

分析結果および代表的な捕食物の写真を表 4.1 および図 4.2 にそれぞれ示した。分析を実施した 30 個体のうち、植物質は全 30 個体 (100%)、動物質は 13 個体 (43%) で検出された。なお、動物質はほとんどが昆虫類であったが、1 個体のみ爬虫類が検出された。また今年度の捕獲個体はすべて 80%以上が植物質として検出され、石垣島や新城島の報告と同様に、黒島のクジャクもおもに植物質を捕食することが示唆された。

表 4.1 クジヤク胃内容物分析結果

個体番号	地点番号	性別	植物質		昆虫類		爬虫類		合計
			重量 (g)	割合	重量 (g)	割合	重量 (g)	割合	重量 (g)
1	#014	メス	39.1	100.0%	0	0.0%	0.0	0%	39.1
2	#025	メス	33.8	100.0%	0	0.0%	0.0	0.0%	33.8
3	#015	オス	62.0	99.5%	0.3	0.5%	0.0	0%	62.3
4	#003	メス	23.9	100.0%	0	0.0%	0.0	0%	23.9
5	#013	オス	17.5	99.4%	0.1	0.6%	0.0	0%	17.6
6	#011	メス	16.5	100.0%	0	0.0%	0.0	0%	16.5
7	#007	オス	43.4	99.3%	0.3	0.7%	0.0	0%	43.7
8	#026	オス	68.4	95.8%	3.0	4.2%	0.0	0%	71.4
9	#027	オス	34.4	100%	0	0%	0.0	0%	34.4
10	#028	オス	33.9	100.0%	0	0.0%	0.0	0%	33.9
11	#031	オス	10.8	95.6%	0.5	4.4%	0	0.0%	11.3
12	#003	メス	14	92.1%	1.2	7.9%	0	0.0%	15.2
13	#014	メス	9	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	9.0
14	#025	メス	6	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	6.0
15	#008	オス	3.2	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	3.2
16	#028	オス	32.5	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	32.5
17	#024	メス	10	81.3%	2.3	18.7%	0	0.0%	12.3
18	#007	オス	12.5	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	12.5
19	#017	オス	14.3	96.6%	0.5	3.4%	0	0.0%	14.8
20	#011	オス	3.3	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	3.3
21	#013	メス	26.5	95.7%	1.2	4.3%	0	0.0%	27.7
22	#025	メス	25.3	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	25.3
23	#030	オス	15	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	15.0
24	#024	メス	11	87.3%	1.6	12.7%	0	0.0%	12.6
25	#010	オス	10.1	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	10.1
26	#029	メス	11.2	91.1%	1.1	8.9%	0	0.0%	12.3
27	#015	メス	11.9	97.5%	0.3	2.5%	0	0.0%	12.2
28	#016	メス	8	100.0%	0	0.0%	0	0.0%	8.0
29	#031	オス	45	99.6%	0.2	0.4%	0	0.0%	45.2
30	#043	オス	30	96.8%	0	0.0%	1	3.2%	31.0



図 4.2 (1/2) 代表的な胃内容物 (数字は捕獲地点番号を表す)

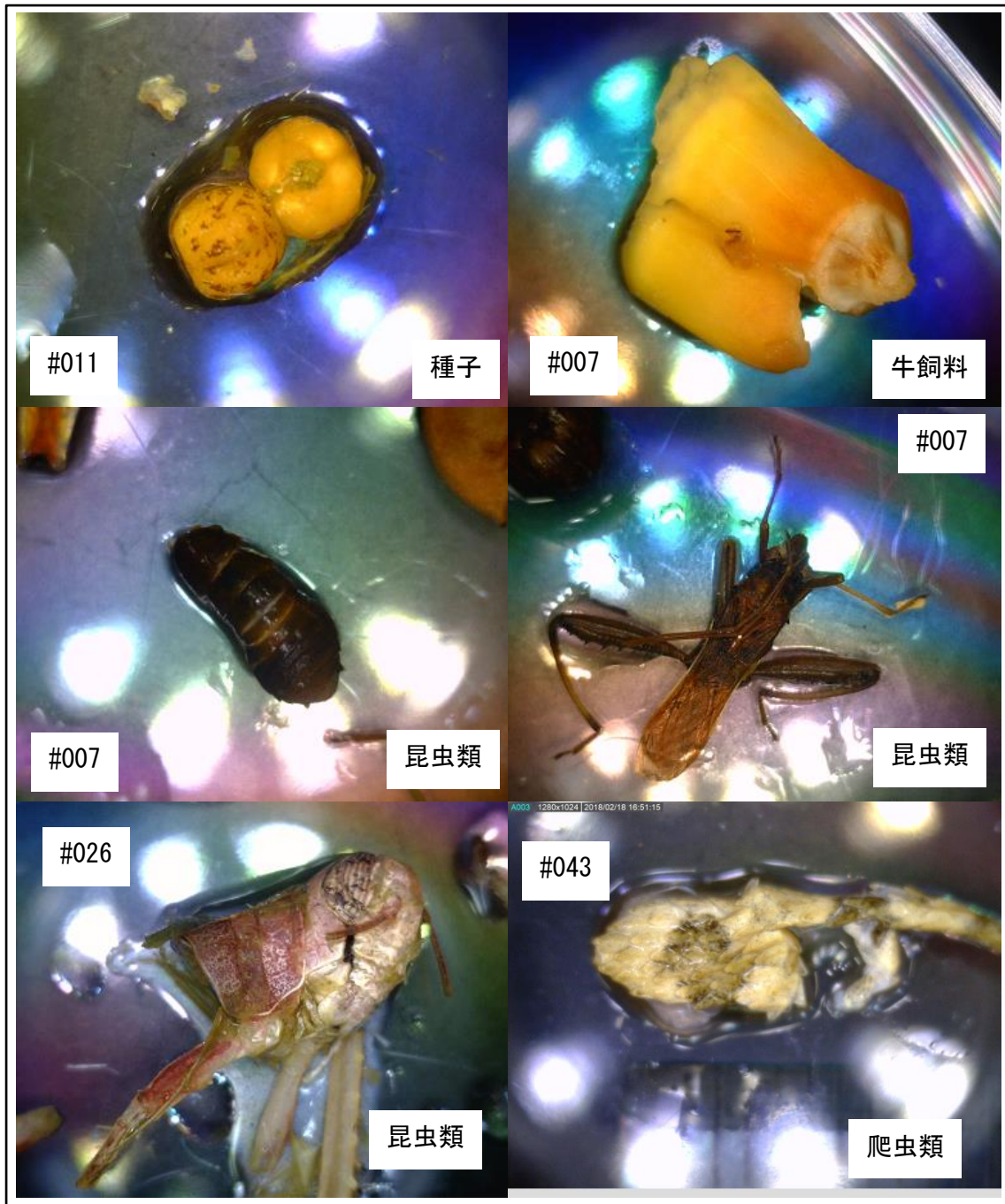


図 4.2 (2/2) 代表的な胃内容物 (数字は捕獲地点番号を表す)

4.4 引用文献

- Ali, S. Ripley, S.D. (1978) Handbook of the birds of India and Pakistan. Vol (1), Oxford University Press, New Delhi.
- Baker H.R. Inglis, C.M. (1930) The birds of southern India, including Madras, Malabar, Travancore, Cochin, Coorg and Mysore. Madras Government Press, India.
- Johnsgard, P.A, (1999) The Pheasants of the World: Biology and Natural History. Washington, DC: Smithsonian Institution Press.

- 環境省. (2005) 平成16年度西表国立公園における移入鳥獣対策調査報告書.
- 環境省. (2008) 平成19年度西表国立公園における外来鳥獣対策調査報告書 (グリーンワーカー事業) .
- 沖縄県. (2017) 平成28年度外来種対策事業 (クジャク対策) 報告書.